

学習者主体の学びとその支援

(講演1) 大阪大学アクティブラーニング教室 (HALC) の紹介と活用事例

発声練習にはTutorと音声認識ソフトDragon Dictationを活用します。慣れないドイツ語の発音がちゃんと認識されると「やったー」という気分になります！

Heute ist es schön.
今日は良い天気です。

Ich habe Hunger.
お腹がすいた。

ヨシヤー!!!
出来ました。



●ビデオ撮影プロジェクト
1 セメスター15週を
3クールに分けて実践

発音練習
対話練習
シナリオ作成
レビュー
ビデオ撮影

恩師である関口一郎先生の手法を引き継ぎ、語学(ドイツ語)の学びにビデオ撮影を取り入れた学習をおこなっています。

岩居 弘樹
大阪大学教授

●German Word Wizard
ドイツ語音声合成アプリ

●Dragon Dictation
40言語音声認識アプリ



*岩居先生の「初修外国語(ドイツ語)の実践事例」をピックアップしてレポートします。

4週目には撮影にはいります。3人一組で、2人が会話、残りが撮影を担当します。同じ内容を3人が立場を交代して演じ、3本の動画を完成させます。

Wo ist die Bibliothek?
図書館はどこですか?
Kannst du mir bitte den Weg zur Bibliothek zeigen?
図書館への行き方を教えてください。

Ich gehe auch in die Bibliothek.
私も図書館に行きます。
Gehen wir zusammen.
一緒にいきましょう。

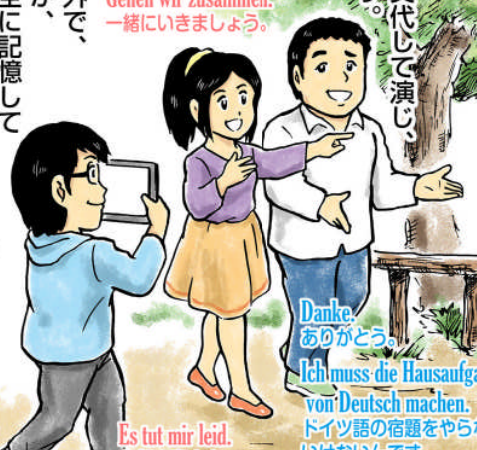
それそれぞれのグループが屋外で、約1分間演じるわけですが、セリフは何も見ずに、完全に記憶して行うことを目指します。何度か失敗しながら学んでいくエクササイズです。

学生達は「確かに覚えただけ」のセリフがカメラの前はしゃべることが出来る、「覚える」ということの本質を理解します。完成した動画をYouTubeにアップしてレビューを行います。

カンニングペーパーも読むと視線が不自然になります。

Danke
ありがとう。
Ich muss die Hausaufgaben von Deutsch machen.
ドイツ語の宿題をやらないといけません。

Es tut mir leid.
お気の毒さま。
Ich kenne ein gutes Buch.
良い本知ってますよ。



まずは自己紹介を全員で行います。

Mein Name ist Takuya.
私の名前はタクヤです。
Freut mich.
よろしく。

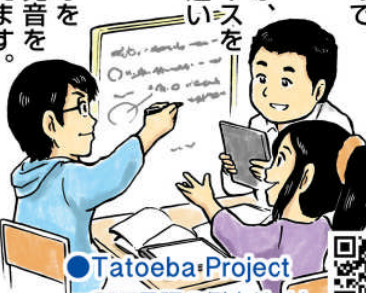
Freut mich auch.
こちらこそよろしく。
Ich bin Yuki.
私はユキです。



次にシナリオを作ります。日本語で考えるので、初級者にはとても訳せない文章になりますが、多言語データベースを利用して意図に近い表現を捜していきます。

完成したシナリオをアプリで正しい発音を確認しながら覚えます。

●Tatoeba Project
315言語の例文サイト



後期からはロイノートというサービスを活用します。こちらは静止画をスライドショーにし、音声の後からいれます。

Ich möchte nicht an dich gebunden sein.
お前に束縛されたくないんだ。

Liebst du mich nicht mehr?
私のことをもう愛してないの?

Ich möchte nicht an dich gebunden sein.
お前に束縛されたくないんだ。

Liebst du mich nicht mehr?
私のことをもう愛してないの?

役を入れ替えて...

とても重要なのは、グループで集まって練習することです。そのためには計画を立て、スケジュールを調整することが必要です。ドイツ語を学ぶということだけでなく、学生同士の信頼関係を築くのに役にたっています。教師が教えるのを待つのではなく、学生が自ら考えて学ぶ姿勢になっていきます。

授業の様子や学習成果



学習者主体の学びとその支援

(講演2) プレイフルラーニングで世界をROCKしよう!

今日は「学びの場をどういう空間にするか」ということを、体を動かしながら考える時間になしたいと思います。さあ皆さん、前に出てきていただけますか!

という出だしから今までに体験したことのない講演が始まりました。全てのレポートは不可能なので「似顔絵ワークショップ」にフォーカスしてお届けします。

ここからは「目的に合わせられる教室」という環境デザインにおける「空間とツール」についてお話しします。

照明は空間の環境を大きく変え、細やかな演出を可能とする重要な要素です。

また、部屋の広さを活かし、床の使い方を工夫するだけでも発想の転換が行えます。床に広げたロール紙に太いペンで書くことで、感性もダイナミックになり、仲間とのイメージ共有にも効果的です。強力なツールとして活用しています。

上田 信行
同志社女子大学特任教授

「T556教室を使ったアイデアを共有する空間」

では「似顔絵ワークショップ」を始めましょう!

まずは会場のデザインです。テーブルを移動し、ロール紙を広げます。次に一人に一枚白い紙とペンを用意します。手順を説明します。3秒間向かい合わせの人の顔を見て、3秒間で描けるだけの似顔絵を描いていきます。

●お互いの紙を交換

●3秒見て!

●3秒描いて!

●1サイクル終了!

お互いに紙を戻して、これを繰り返します。手元の紙には自分の似顔絵が描き上がっていきます。

連続でさよー見て! 1.2.3!!

描いて! 1.2.3!!

見て! 1.2.3!!

描いて! 1.2.3!!

女子大生のスピード感すごいです!

「隣の人と場所を交代して!」

「では、見て! 1、2、3!」

「では、描いて! 1、2、3!」

「隣の人と場所を交代して!」

はい! 終了です! 出来上がった似顔絵はどうですか? 頭の上に掲げて、皆さんで見てください!

最後にロール紙にこのワークショップで感じたことを何でも良いので言葉にして書いてみてください!

この時間に活動した内容をこの場でRTVに編集して映像として見直してみよう。

長時間の活動が、あっという間に終わりました。

RTVとはリアルタイムビデオのことです。

「RTVとはリアルタイムビデオのことです。」